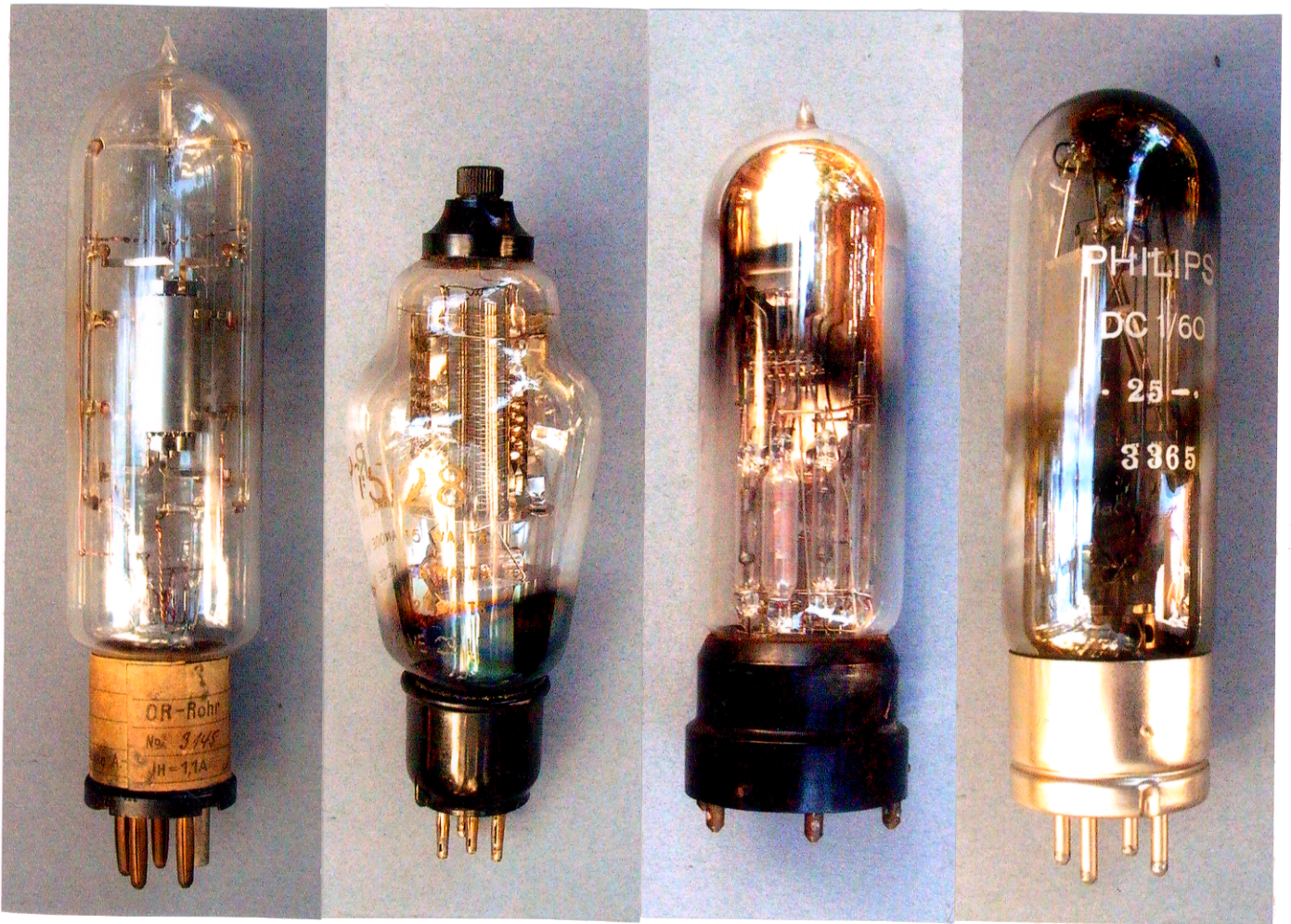


32. 夢多き複合管の歴史

複合管の歴史ほどロマンに満ちたものはありません。真空管の電極を複数封入したものだけでなく、周辺回路の素子を組み込んだものもあって、簡単な例としましては、829B や 832A のスクリーングリッドのバイパスコンデンサー (60pF) などが広く知られています。

特に 1930 年代のヨーロッパには複数の真空管の電極と周辺回路を数多く封じ込んだものが多く見られ、電極の美しさに加えて回路部品が織り成す華麗な姿は、作者の心のゆとりとセンスを彷彿とさせるものがあります。

その最高傑作と思われる逸品をお持ちの exJ2HR, JA1BHR 安川七郎氏に写真を撮らせて頂きました。



この度、大変貴重なコレクションを撮影させて頂く機会をお与え下さいました安川七郎氏に厚く御礼申し上げます。